

## H27乳がん検診チェックリスト

下記のチェックリストの設問に対して、「はい」または「いいえ」の該当する欄に「1」を入力してください。装置数・人数については数をそのまま記載。

	はい	いいえ		
<b>【1】受診者への説明</b>				
(1) 要精密検査となった場合には、必ず精密検査を受ける必要があることを事前に明確に知らせていますか	1			
(2) 精密検査の方法や内容について説明していますか	1			
(3) 精密検査の結果の市町村への報告など、個人情報の取り扱いについて、受診者に対し十分な説明を行っていますか	1			
<b>【2】問診および撮影の精度管理</b>				
(1) 検診項目は、問診、マンモグラフィ検査、視触診とし、視触診は、指針の別紙【※5】に記載された留意点について実施されていますか	1			
(2) 貴施設で、乳房エックス線撮影装置は何台(総数)ありますか	アナログ装置	0台	/	
	デジタル装置	2台		
(3) -1 (2)の装置で、日本医学放射線学会の定める仕様基準【※1】を満たしている装置は何台ありますか。	アナログ装置	0台	/	
	デジタル装置	2台		
(3) -2 (2)の装置で、検診施設画像認定【※2】を受けている装置は何台ありますか。	アナログ装置	0台	/	
	デジタル装置	2台		
(4) -1 撮影に従事する、撮影医師(医師撮影)及び撮影技師の認定取得状況を記入してください。 注:認定については、更新講習を受けているかを確認して記入してください。	医師	A	0人	/
		B	0人	
		未認定	0人	
	技師	A認定	2人	
		B認定	1人	
		未認定	0人	
(4) -2 撮影に従事する、撮影医師(医師撮影)及び撮影技師の雇用形態を記入してください。 注:認定については、更新講習を受けているかを確認して記入してください。	医師	常勤	0人	/
		非常勤	0人	
	技師	常勤	3人	
		非常勤	0人	
<b>【3】読影の精度管理</b>				
(1) -1 読影に従事する、医師の認定取得を記入してください。 注:認定については、更新講習を受けているかを確認して記入してください。	A認定	6人	/	
	B認定	1人		
	未認定	0人		
(1) -2 読影に従事する、医師の雇用形態を記入してください。	常勤	1人	/	
	非常勤	6人		
(1) -3 読影に従事する、医師は読影のどの部分を担当されていますか。	主に一次読影	4人	/	
	主に二次読影	2人		
	一次・二次ともに	1人		
(2) 二重読影は実施されていますか	2回とも 自施設で実施	1	/	
	うち1回 他施設で実施			
	未実施			
	その他			
(3) 読影は、視触診と同時併用ですか	すべて同時併用	1	/	
	同時併用ではない			
	その他			

【4】システムとしての精度管理			
(1) 精検の結果及び治療結果の報告を、精検実施機関から受けていますか	報告あり	1	
	精密検査機関による		
	報告なし		
(2) 精中機構での施設認定(更新含む)によるもの以外で、第三者による画像評価(検討会および委員会)を定期的実施していますか	実施している	1	
	未実施		
	その他		
(3) 自施設での要精検率(要精検数/検診受診者数)を把握していますか	把握している	1	
	一部把握		
	未把握		
(4) 自施設で要精検と判定された者の精検受診率(精検受診者数/要精検数)を把握していますか	把握	1	
	一部把握		
	未把握		
(5) 自施設で要精検と判定された者に対し、がん発見率(がん患者数/検診受診者数)を把握していますか	把握	1	
	一部把握		
	未把握		
(6) 自施設で要精検と判定された者に対し、陽性反応適中度(がん患者数/要精検数)を把握していますか	把握	1	
	一部把握		
	未把握		
(7) 実施主体(市町村)へのがん検診の集計・報告は、地域保健・健康増進事業報告に必要な項目で集計していますか		1	
【8】所見用紙(様式)			
(1) 視触診の所見用紙は「マンモグラフィによる乳がん検診の手引きー精度管理マニュアル」に基づいたものを使用していますか		1	
(2) マンモグラフィ検診の所見用紙は「マンモグラフィによる乳がん検診の手引きー精度管理マニュアル」に基づいたものを使用していますか		1	
(3) マンモグラフィの判定はカテゴリ分類を明記し、報告していますか。		1	

《判定基準及び目標値》

【※1】日本医学放射線学会の定める仕様基準

乳がん検診に用いるエックス線装置の仕様基準:マンモグラフィによる乳がん検診の手引きー精度管理マニュアルー第5版参照

【※2】日本乳がん検診精度管理中央機構の示す基準により認定された施設

【※3】マンモグラフィの撮影に関する適切な研修

日本乳がん検診精度管理中央機構が開催する乳房エックス線検査に関する講習会、又はこれに準ずる講習会を受講し、試験評価認定(A・B)を受けた者

【※4】マンモグラフィの読影に関する適切な研修

日本乳がん検診精度管理中央機構が開催する読影講習会、又はこれに準ずる講習会を受講し、試験評価認定(A・B)を受けた者

【※3】【※4】

マンモグラフィ撮影、読影及び精度管理に関する基本講習プログラムに準じた講習会とは、検診関連6学会(日本乳癌検診学会、日本乳癌学会、日本医学放射線学会、日本産科婦人科学会、日本放射線技術学会、日本医学物理学会)から構成され設立された日本乳がん検診精度管理中央機構の教育・研修委員会の行う講習会等をいう。

なお、これまで実施された「マンモグラフィ検診の実施と精度向上に関する調査研究」班、「マンモグラフィによる乳がん検診の推進と精度向上に関する調査研究」班および日本放射線技術学会乳房撮影ガイドライン・精度管理普及班による講習会等を含む。

【※5】「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針―別紙」

1 視診の留意点

乳房の対象性(大きさ及び形)、乳房皮膚の陥凹、膨隆、浮腫及び発赤、乳頭陥凹並びに乳頭びらんの有無について観察

2 触診の留意点

指腹法、指先交互法等により、両手で乳房の内側から外側(又は外側から内側)に、かつ、頭側から尾側に向かって、乳房を軽く胸壁に向かって圧迫するように行う

(ア)乳房の触診

腫瘍、結節及び硬結の有無、性状等を診察する

(イ)リンパ節の触診

腋窩リンパ節及び鎖骨上窩リンパ節の腫脹の有無、性状等を診察する

(ウ)乳頭の触診

乳頭からの異常な分泌物の有無、性状等を診察する

参考書籍等

- ・NPO法人マンモグラフィ検診精度管理中央委員会報告書(第5版)(現日本乳がん検診精度管理中央機構)
- ・マンモグラフィによる乳がん検診の手引き―精度管理マニュアル―第5版
- ・がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針